

フォーラム No. 23 (2018) 目次

論文

小南悠「シンパシーの視線——19世紀シンパシー文化から読む「利己主義，もしくは胸中の蛇」」 pp. 1-17.

Kominami, Yu. “The Gaze of Sympathy: ‘Egotism; or, the Bosom Serpent’ in Nineteenth-Century Sympathy Culture.”

高橋愛「「どこか女性的なところ」——ホリングズワースに反映されるジェンダー規範」 pp. 19-31.

Takahashi, Ai. “‘Something of the Woman’: Gender Norms Reflected in Hollingsworth.”

年次大会ワークショップ発表論文

田島優子「ヒロインとしてのジョージアナ——ホーソーンの「痣」における精神の完全性をめぐって」 pp. 33-49.

Tashima, Yuko. “Georgiana as the Heroine: Spiritual Perfection Reconsidered in Hawthorne’s ‘The Birth-mark.’”

書評

古屋耕平『モンロー・ドクトリンの半球分割——トランスナショナル時代の地政学』（下河辺美知子編著） pp. 51-58.

野崎直之『ナサニエル・ホーソーン伝』（ランダル・スチュアート著，丹羽隆昭訳） pp. 59-65.